

課題 1 1 . 他施設、他機関との連携状況（含大府養護学校との連携）

（ 1 ）地域支援活動・他施設との連携

保健センターや総合診療部を中心として実施した地域への支援・連携活動に対して総計 669 名が役割を果たした。

平成17年度地域支援活動実績

職種	活動人数												年間
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
医師	13	29	21	19	18	19	26	22	23	21	33	39	283
保健師	5	25	9	15	22	12	15	10	20	14	21	35	203
看護師	3	8	3	4	5	3	8	0	6	1	5	14	60
臨床心理士	4	9	4	8	8	7	7	5	6	4	3	13	78
言語聴覚士	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
視能訓練士	1	0	1	1	2	0	1	2	2	0	1	1	12
理学療法士 作業療法士	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
精神保健福祉士	2	5	1	2	2	2	4	0	3	0	0	4	25
保育士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	28	77	40	49	59	43	63	39	60	40	63	108	669

活動の内容は以下のとおりであった。

平成 17 年度地域支援活動実績（内訳その 1）

- 地域や行政で主催される小児保健医療に関する専門家による会議への参加（委員としての活動など）
- 地域で主催される専門家や一般県民への研修会・講演会の講師等の活動
- 市町村の乳幼児健診に対する視力検査等の技術支援

職種	活動人数												年間
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
医師	6	9	18	10	11	15	18	21	7	14	26	20	175
保健師	1	11	3	7	9	8	6	10	4	5	10	12	86
看護師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床心理士	1	1	1	2	4	2	2	5	1	1	1	1	22
言語聴覚士	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
視能訓練士	1	0	1	1	2	0	1	2	2	0	1	1	12
理学療法士 作業療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神保健福祉士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	22	24	20	27	25	28	38	14	20	38	34	299

平成 17 年度地域支援活動実績（内訳その 2）

- d. 要保護児童対策のための地域ネットワークへの支援として、
 地域主催のケース検討会議への助言、または会議メンバーとしての参加
 地域ネットワークメンバーが小児センターに来所して開催するケース検討会議への参加

職種	活動人数												年間
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
医師	7	20	3	9	7	4	8	1	16	7	7	19	108
保健師	4	14	6	8	13	4	9	0	16	9	11	23	117
看護師	3	8	3	4	5	3	8	0	6	1	5	14	60
臨床心理士	3	8	3	6	4	5	5	0	5	3	2	12	56
言語聴覚士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
視能訓練士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理学療法士	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
作業療法士	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
精神保健福祉士	2	5	1	2	2	2	4	0	3	0	0	4	25
保育士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	19	55	16	29	32	18	35	1	46	20	25	74	370

（ 2 ）大府養護学校との連携

大府養護学校との連携では、各種会議やケース検討会、学校行事への参加や学校健診への支援システム等で調整し、連携を図り、児童、生徒の病院の治療と学校生活上の問題に対応している。

1) 大府養護学校とあいち小児保健医療総合センターの連携会議

a. 運営協議会

目的・内容	学校及び病院における児童生徒の療育および教育に関する基本的事項の調整を図る。
開催	年度当初、年 1 回程度
学校参加者	校長、教頭、事務長、部主事、主査
センター参加者	センター長、保健センター長、外科部長、循環器科部長、内科部長、看護部長、管理課長、保健室長
担当窓口	学校：教頭（加藤）、センター：保健室長（山崎）

平成17年度：平成17年4月20日（水） 9：00～9：20

b. 医教連絡協議会

目的・内容	病院の医療方針、生活指導等について、また学校の指導方針、教育課程等について相互理解を図るため連絡・協議する。
開催	年2回程度
学校参加者	校長、教頭、事務長、部主事、総務主任、教務部主任、生徒指導主事、保健体育部主任、進路指導部主任他
センター参加者	医局（小石 浅井）、薬剤部長（大石）、管理課長補佐（小木曾）、看護部副部長（千速）、保健室長（山崎）、保健室補佐（小出）
担当窓口	学校：教頭（加藤）、センター：保健室長（山崎）

第 1 回 平成17年5月31日（火）16:10～17:00

第 2 回 平成18年2月24日（金）16:10～17:00

c. 生活指導連絡協議会

目的・内容	児童生徒の学校、センターにおける生活上の課題や問題点について話し合い共通理解をはかり指導・支援に役立てるとともに、学校・センター間の連携を深める。
開催	全体を3回と、生徒指導部と1回計4回開催する。
学校参加者	学級担任、生徒指導部職員等
センター参加者	関係病棟看護師長、関係看護師若干名、心理指導科（大河内）、医療社会事業担当（大橋）、チャイルドライフ担当（原）
担当窓口	学校：生徒指導部主任（中村）、センター：医療社会事業担当（大橋）

- 第1回 平成17年5月13日（金） 15:45～16:45
- 第2回 平成17年10月14日（金） 15:45～16:45
- 第3回 平成18年1月20日（金） 15:45～16:45
- 第4回 平成18年2月10日（金） 15:45～16:45

d. 入退院検討会

入院しながら学べる環境作りのため、大府養護学校に通う患児については、センター職員と学校教諭との間で入院時に（退院時は必要に応じて）検討会を実施し、また随時カンファレンスを開催している。

目的・内容	大府養護学校に通学する児童・生徒の入退院を組織的かつ円滑に進めるため、随時開催する。
開催	随時、センター研修室など
学校参加者	校長、教頭、部主事、担任等
センター参加者	総合診療部長、内科系・心療科系部門医師の各代表者、看護部長、医療社会事業担当、主治医、関係病棟看護師長
担当窓口	学校：教頭（加藤）、センター：医療社会事業担当（大橋）

平成17年度：32回開催
延べ116名に関連した検討を行った。

e. 事例検討会

目的・内容	一つの事例について医療面、教育面の立場から、対象事例を多面的に情報交換及び意見交換を行うことで、両者の共通理解を図るとともに、よりよい支援の方針を探る。
開催	隔月第3金曜日 14:30～16:00 センター地下研修室
学校参加者	関係部主事、自立活動部主任、担任、養護教諭、その他関係職員
センター参加者	関係医師、病棟看護師長、関係看護師、臨床心理士、医療社会事業担当、保健師、その他関係職員
担当窓口	学校：自立活動主任（吉田）、センター：医療社会事業（大橋）、病棟看護師（野呂師長）

- 第1回 平成17年5月27日（金）
- 第2回 平成17年6月24日（金）
- 第3回 平成17年10月28日（金）
- 第4回 平成17年11月22日（金）
- 第5回 平成18年2月24日（金）

f. 学校保健委員会

目的・内容	学校保健について問題を検討し、その実践を推進していくための研究協議と連絡調整を行う。
開催	年2回程度(5月・2月)
学校参加者	医教連絡協議会に同じ
センター参加者	医教連絡協議会に同じ
担当窓口	学校：保健主事(山本)、センター：保健室長(山崎)

第1回 平成17年5月31日(火) 16:10～17:00

第2回 平成18年2月24日(金) 16:10～17:00

2) 学校保健関連の連携活動

a. 定期健康診断：児童・生徒の定期健康診断

学校医：山崎(内科)、服部(耳鼻いんこう科)、都築(眼科)、加納(歯科)により実施された。

b. 修学旅行、宿泊体験学習の事前健康診断。

学校医：山崎(内科)により実施された。

平成16年度：平成16年9月10日(金) 小学部修学旅行事前検診

c. 環境衛生検査

大石(学校薬剤師)により実施された。

d. 大府養護学校安全衛生委員会への出席ならびに職員の定期健康診断・健康区分判定。

大府養護学校健康管理医(山崎)により実施した。

大府養護学校安全衛生委員会

第1回 平成17年6月1日(水) 15:40～16:30

第2回 平成17年11月1日(火) 15:40～16:30

第3回 平成18年2月15日(水) 15:40～16:30

3) 学校行事・野外活動へのセンター職員の随伴等

平成17年度：

	日程等	随伴者	担当窓口
遠足	平成17年4月28日(金) 産業技術記念館(名古屋市)	森下剛医師 石塚看護師	センター：山崎 学校：生徒指導部主任(神)
野外活動 (小学部5・6年)	平成17年5月20日(金) 大府養護学校運動場		センター：山崎 学校：小学部主事(濱畑)
中学部宿泊体験学習	平成17年5月26日(木)～ 平成17年5月27日(金) 岐阜県(未来会館・長良養護学校等)	垣内看護師	センター：山崎 学校：中学部主事(高村)
ベースランニング・ウォーキング会	平成16年11月25日(金)5時 あいち健康の森	当日医師がセンター内待機した。	センター：山崎 学校：自立活動主任(吉田)

4) 進路個別相談等の実施

a. 進路希望調査

個々の生徒の進路希望に対して主治医の所見を記入。

高等部：4月と10月の2回、中学部：5月と10月の2回、各生徒毎に実施した。

b. 進路個別相談会

センター参加者：主治医、病棟看護師長、担当看護師

学校参加者：部主事、担任、進路指導部

5) 大府養護学校体験入学会における個人別医療相談

年2回程度(10月 11月頃)の体験入学会にあわせて実施される。

相談担当：保健室長等センター医師、医療ソーシャルワーカー

平成16年度：平成17年10月14日(金) 14:00～15:30

平成17年11月18日(金) 14:00～15:30

6) センター入院児童・生徒の生活面での連携

以下の活動に対して、各主治医、看護師長・病棟看護師等が医療上の意見を述べて円滑な運営に協力した。

a. センター入院児童・生徒の毎日の健康状態の連絡

1) 指示箋：転入時や変更時に学習度等を主治医が記入し、看護師がチェックしてファックスで連絡。

2) 保健調査：新年度や転入時、宿泊する行事の事前健康診断の資料としても利用するため、現在の症状や薬物等のアレルギー、緊急時の対応の指示を主治医が記入し、保健室長経由で学校へ連絡。(概ね年2回程度)

センター入院児童・生徒の欠席、日々の病状変化に応じた運動量(0～5)の変化・学習度(1度～6度)の変化に対して、センターと学校とのLAN等を利用した病棟からの連絡に基づいて、養護教諭が職員室黒板に記入し、養護学校内の円滑な情報共有に役立てている。

遅刻、早退、診察等の中途変更は専用内線電話を活用して担当看護師から学校保健室へ連絡されている。

b. 学校外活動等についてのセンター(主治医・病棟)への連絡

内容・対象学年等	担当窓口
産業現場等における実習(希望就職先での実習体験、高校2～3年生等が対象)	センター：病棟看護師長 学校：進路指導主事(牧)
就業体験(総合学習の一環、高等部全員)	センター：病棟看護師長 学校：高等部担当者
郊外実習(保育所実習等)	センター：病棟看護師長 学校：家庭科担当者(牧)
模擬試験、体験入学、学校見学会等への参加	センター：病棟看護師長 学校：担任
英語検定試験	センター：病棟看護師長
漢字検定試験	学校：担任

特別の配慮が必要な場合は、学校側の担当から主治医に照会の上で連絡

c. センター入院児童・生徒の体力テスト、運動会、水泳、ベースランニング・ウォーキング会、修学旅行、宿泊体験学習等への主治医への確認

センター窓口担当：保健室長

学校窓口担当：保健体育部

d. センター入院児童・生徒の家庭科調理実習の連絡

センター窓口担当：関係病棟の各看護師長

食事制限、配慮が必要な場合は、主治医の照会の上で指示

学校窓口担当：家庭科担当者(牧)

7) その他の連携活動

- 平成17年 7月25日(月) 平成17年度第1回医教連携セミナー 参加198名
講演 小石誠二 「『精神と行動の障害』のある子どもたちの理解と支援」
- 平成17年8月26日(金) 平成17年度第2回医教連携セミナー 参加179名
講演 大河内 修 「ADHDの子どもの理解と支援 パート 」
- ・職員へのインフルエンザワクチン接種
平成17年11月8日(火)、11月15日(火)、11月17日(木)、11月24日(木)
- ・センター内学習室へのインターネット環境の利用
- ・集団運動療法のための大府養護学校体育館の利用
毎週水曜日、喘息児・肥満児・多動児の集団運動療法

8) センター職員の参加した学校行事

- 平成17年4月6日(水) 平成17年度入学式
- 平成17年10月7日(金) 平成17年度運動会
- 平成17年11月 11日(金) 平成17年度文化祭
- 平成18年3月6日(月) 平成17年度卒業証書授与式